

しょうぼう さつま 119

編集・発行
さつま町消防本部
鹿児島県薩摩郡さつま町時吉366
Tel 0996-52-0119
Fax 0996-53-0119
Web <http://119.satsuma-net.jp/>
mail shobo@satsuma-net.jp



①離陸



②現場確認



④降下開始



③降下準備



⑤着地

鹿児島県防災ヘリ 隊員投入訓練 [P-6関連]

主な内容

- 2ページ……………秋の全国火災予防運動
- 3ページ……………危険物に関する情報
火災調査ファイル Vol.6
- 4ページ……………薩摩支部・県消防操法大会結果報告
- 5ページ……………女性消防団員募集
集団救急事故訓練を実施
消太くんの消防一口メモ
- 6ページ……………鹿児島県防災ヘリ隊員投入訓練
消防ほっと写真館

平成28年度全国統一防火標語

消しましょう その火その時 その場所で

秋の全国火災予防運動

今年も、11月9日から15日までの7日間にわたり、『秋の全国火災予防運動』が実施されます。

この運動は、火災が発生しやすい気候となるこの時季を迎えるに当たり、火災予防思想の一層の啓発を図りながら、火災の発生を防止し、高齢者等を中心とする死傷者の発生を減少させ、財産の損失を防ぐことを目的として実施されるものです。

さつま町消防本部でも、この火災予防運動にあわせて各種イベントを開催し、防火を呼びかけていきます。町内の幼年消防クラブ員や消防団員のほか、観光大使かぐや姫やさつままるちゃんなどが参加するイベント等もありますので、ぜひ会場へ遊びに来てください。



なお、各種イベントについては、次の通りです。

防火パレード

- ・日時 11月12日(土) 10時～11時
- ・区間 プラッセだいわ 吉祥園保育所
- ・参加団体 吉祥保育園幼年消防クラブ、消防団(川原・虎居・中央・時吉・船木)、消防署、さつままるちゃんも参加予定です!!



吉祥保育園のみなさん

※吉祥保育園幼年消防クラブによる防火パレードは、昭和63年9月の発足当初から続く恒例行事となっています。

さつまフェスタ

- ・日時 11月20日(日) 10時～13時
- ・場所 薩摩総合運動公園グラウンド
- ・イベント内容 消防車両放水体験や水消火器使用体験、救助体験、防火衣や空気呼吸器着装体験、煙体験など



広報物品の配布

救助体験

※広報物品の配布やつるだ同朋子ども園児による演芸大会、観光大使かぐや姫による防火PRもあります。

消防署の一般開放

車両の見学のほか、普段あまり見ることのない通信指令室などを見学することができます。



求名小学校

柏原小学校

写生会作品展示

町内14の保育園・幼稚園の子ども達が描いた消防車両の絵を展示いたします。

- ・日時及び場所
- ① 10月29日(土)～30日(日) 薩摩農村環境改善センター (薩摩支部文化祭)
- ② 11月1日(火)～11日(金)

さつま町役場本庁

1階 町民ホール

③ 11月2日(水)～3日(木) 宮之城武道館(厳翼館)

(宮之城支部文化祭)

④ 11月12日(土)

鶴田中央公民館

(鶴田支部文化祭)



写生会作品 展示風景

さつま町では、今年9月30日現在9件の火災が発生し、火災による死者が2名、負傷者も5名発生しています。

火災による死者のうち1名は、夜間に発生した建物火災によって命を落とされています。

ちょっとした「油断」で家財だけでなく、命までも奪うのが火災です。火の取扱いには十分注意しましょう。

正しく取り扱ってまずか？

危険物！



火災調査ファイル Vol.6

ガソリンや灯油などの「危険物」は、今や私たちの生活にとって必要不可欠なものとなっています。

この危険物は取扱いや保管方法を間違えると、重大な事故につながる文字通り「危険なもの」です。

これから本格的に寒くなる今だからこそ、事故を起こさないために、正しい取扱いと保管方法を確認しておきましょう。

●保管方法について

① 灯油を購入する際は、金属製容器または灯油用ポリエチレン容器（認定品）を用意すること。



③ 子どもの手の届かないところに保管すること。



●注意事項

※灯油用ポリエチレン容器は永久的に使用できません。

劣化・変形等があった場合は使用しないでください。

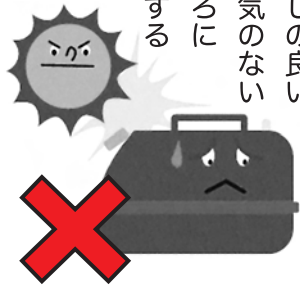
●取扱いについて

① 給油中は火気厳禁！！
ストーブやボイラーなどに給油する時は、必ず火を消すこと。

② 使用中は、定期的に換気すること。



(1) キャップをしっかり閉める
(2) 直射日光の当たらない場所を選ぶ
(3) 風通しの良い、火の気のないところに保管すること。



※灯油用ポリエチレン容器にはガソリンや軽油を貯蔵・保管出来ません。
ガソリンは認定を受けた専用の金属製容器を、軽油は認定を受けた金属製または軽油専用のポリエチレン容器を使用してください。

「たばこ」はしっかり消しましょう！！
「たばこの不始末は火災の『火種』」

現代社会において、たばこは身近な存在であり、喫煙される方もおられるのではないのでしょうか。

実は、そのたばこが原因で発生する火災は非常に多く、全国的にも出火原因の上位を占めています。

その中でもたばこの不始末によるものが多く、吸い殻をそのままゴミ箱に捨てたり、火種が落下したことに気付かず火災となるのです。

この火災の特徴として、最初は炎が立ち上がらない『無炎燃焼』が起り徐々に燃え広がるため、火災に気付きにくい性質があります。また、寝たばこによる一部消失やぼやなどの小規模火災であっても、気付かない間に煙を吸い込んでしまうため、一酸化炭素中毒により命を落とすことも少なくありません。
このようなたばこ火災を起こさないためにも、次のような点に注意しましょう。

- ① 喫煙は、決まった場所で行う！
- ② 灰皿には水を張り、確実に火を消す！
- ③ 吸い殻をそのままゴミ箱に捨てない！
- ④ 就寝前や外出前には、たばこの火が消えているか、しっかり確認する！
- ⑤ 寝たばこは絶対にしない！



消防団員の 熱き戦い 消防操法大会

平成28年7月31日(日)、薩摩川内市西開間運動広場で『薩摩支部消防操法大会』が開催されました。

この大会は、消防団の消防技術の向上と士気高揚を図ることを目的に開催されており、本町代表として7分団が出場しました。

競技は、消防ホースを延長して放水し、火元に見立てた的を倒すまでの所要時間と士気規律、迅速的確な動作などを審査しました。

大会当日は天候にも恵まれ、強い日差しのもと選手たちは暑さをもとめせず、真剣な眼差しで競技を行いました。

また、消防後援会や選手の家などにも見学に訪れて声援を送るなど、会場内は大いに盛り上がりました。

厳正なる審査の結果、小型ポンプの部で船木分団が見事優勝を果たしました。

本町出場分団の結果は次のとおり

○小型ポンプの部

- 優勝 船木分団
- 3位 久富木分団
- 4位 柘野分団

○ポンプ車の部

- 5位 求名分団
- 6位 白男川分団
- 7位 南求名分団
- 8位 佐志分団



優勝した船木分団



求名分団



船木分団



久富木分団



佐志分団



南求名分団



柘野分団



白男川分団



県大会での船木分団

平成28年8月26日(金)、第31回鹿児島県消防操法大会が鹿児島県消防学校で開催され、薩摩支部消防操法大会で優勝した船木分団が薩摩支部の代表として出場しました。

この大会には、県内各支部の代表が出場し、日頃の訓練成果を存分に発揮し上位を目指して熱戦が繰り広げられました。

結果は、11位と目標にしていた入賞には届きませんでしたが、団員の表情は達成感に満ち溢れたものでした。

女性消防団員募集!!

まつま町では、このたび消防団本部に女性部を組織するため、女性消防団員を募集します。

女性消防団員は、これまでの消防団員とは異なり、火災発生時の消火活動は行いません。

女性の持つソフトな面を活かした広報活動や防火訪問等の啓発活動が主な活動内容となります。

募集要項は次のとおりです。

- 1 応募資格
 - ①まつま町内に居住又は勤務する方
 - ②年齢18歳以上の方
 - 2 募集人員 10名程度
 - 3 募集期間
 - 平成28年9月1日(木)～
 - 平成29年1月31日(火)
 - 4 主な活動内容
 - ①広報活動
 - (車両広報・防火パレード)
 - ②啓発活動
 - (防火訪問・応急手当)
 - ③訓練(出初式・規律訓練)

④その他(定例会議研修等)

5 消防団員の身分

非常勤特別職の地方公務員

6 消防団員の処遇

①条例に基づき、報酬や手当等が支給されます。

②活動に必要な被服等を貸与します。

③公務災害補償、退職報償金(入団5年以上)などの制度があります。

7 申込方法

所定の申込書に必要事項を記入のうえ、まつま町消防本部消防課消防団係へ提出してください。

申込書は、消防課消防団係で配布しています。また、まつま町消防本部ホームページからダウンロードできます。

8 任用 平成29年4月1日
※募集人員を超えた場合は、選考により決定します。

『あなたの力を災害のない安全安心なまちづくりに活かしてみませんか』

集団救急事故

訓練を実施!!

平成28年9月27日(火)、旧宮之城職業訓練校跡地において、集団救急事故訓練を行いました。

今回の訓練想定は、ワゴン車と軽トラックの交通事故において複数の負傷者が発生したというものでした。

まず、先着の救急隊と救助隊及び消防隊が現場状況を確認したあと、各隊に分かれて活動を開始。

救急隊は多数負傷者のトリアージ、救助隊は負傷者の救出及び搬送、消防隊は現場指揮本部及び救護所の設置と負傷者搬送などを行い、緊張感のある訓練となりました。



ってなに??

「口頭指導」

消太くんの 消防一口メモ



●口頭指導という言葉をご存知ですか?

119番を受信した通信指令員が通報者に対し、応急手当の方法や手順について指導を行うことを「口頭指導」といいます。

●すべての通報で行うの??

「意識がない」、「ちっ息」、「大量出血」、「重度のやけど」、「手足や指の切断」など、救急車の到着よりも早く応急手当が必要だと判断される場合に実施します。

●どうすればいいの??

要請場所と内容が確認できた時点で救急車は出動しています。電話のスピーカー機能などを利用して、通信指令員の指導に従い落ち着いて行動してください。

また、ご自宅の固定電話や携帯電話のスピーカー機能の使い方を事前に確認しておくことも重要です。

脳は、心臓が止まってから3〜4分以上経過すると、回復することが困難となります。しかし、まつま町では救急車が現場へ到着するまで平均9.4分かかっています。傷病者の命を救うためには、その場に居合わせた人がすぐに応急手当を行うことが大切になります。住民の皆様のご理解とご協力をよろしくお願いします。

鹿児島県防災ヘリ 隊員投入訓練を 実施!!

平成28年9月5日(月)、かぐや姫グラウンドにおいて、鹿児島県防災航空隊と合同で防災ヘリコプターによる隊員投入訓練を実施しました。

今回の訓練は、土砂崩れや河川の氾濫などにより、消防車両が災害現場へ向かうことが困難な場合、防災ヘリコプターを活用して上空からその現場へ消防隊員を投入する際の要領などを確認するものでした。



県防災航空隊の重永隊長から地上にてヘリの装備や資機材の説明、着地要領などの指導を受けた後、実際にヘリコプターへ当本部隊員が2名ずつ4回に分けて搭乗し、高度30メートルから地上へと降下しました。

災害現場において、迅速かつ円滑な連携活動を行うためにも非常に貴重な訓練となりました。

消防ほっと写真館



2016.9.26~28

消火・救助訓練に取り組みました!!
【鶴田中学校 職場体験学習】



2016.9.26~28



2016.5.14

旭・しび保育園

【幼年消防クラブ結団式】



2016.5.16

吉祥保育園



2016.5.28

恵光保育園【幼年消防クラブ結団式】



2016.9.13

山崎保育園【消防車両写生会】



2016.8.31

クオラバンビーノ【庁舎見学】



2016.6.1

求名小学校【社会科見学】



2016.5.20

柏原小学校【社会科見学】